

# 大盛況

## 第40回 ぐずまき町民まつり



1 ぐずらりと立ち並ぶ屋台村には大勢の来場者が詰め掛け活気にあふれた 2 千人鍋の豚汁を味わう子どもたち 3 衣類が山積みされた古着回収コーナーでお仕事体験に励む児童 4 総額60万円相当の商品券が当たる大抽選会 5 森林組合によるチェーンソーアート 6 鈴木重男町長ほか関係者によるテープカットでまつりが開幕 7 宮古市「漁り火の会」による海産物の販売 8 芸能ショーで華やかな舞を披露する花みずぎの会 9 ほうれんそうやはくさいなど70点が出品され栽培技術を競った野菜・雑穀共進会 10 恒例の福引券付きお菓子まき集まる大勢の来場者

産業まつり、生涯学習フェスティバル同時開催  
多彩な催しで町の魅力を発信

第40回ぐずまき町民まつり（産業まつり、生涯学習フェスティバル）は、10月18日と19日の2日間、社会体育館とモウモウ館で開催されました。ステージショーや体験コーナーなど、多彩な催しが行われた会場には延べ約5,500人が訪れ、活気にあふれました。今年開催40周年を記念し、特別企画「生まれ！40な皆さん」を実施。「昭和40年生まれ」と「40歳」の来場者に、会場内で使用できる1000円分の商品券がプレゼントされました。

新企画の「ぐずまきズワーキング」には小中学生約20人が参加。この企画は、商品販売や古着回収コーナーで「お仕事体験」を行い、1回の体験約30分で100円分の商品券をゲットできるというもの。参加した子どもたちは、楽しみながらお仕事に励んでいました。会場の内外では、この秋収穫された野菜や果物、冬に備えての衣類や暖房器具、宮古市「漁り火の会」による海産物などが売り出され、買い求める大勢の人で終日にぎわいを見せました。今年で2年目となる古着回収コーナー

には、昨年を100kg以上も上回る約750kgの衣類が持ち込まれ、古着専門店の「ドンドンダウン」に引き渡されました。今年も被災地復興支援として千人鍋の豚汁が1杯100円で提供されたほか、消防自動車などの乗り物体験コーナーや動物とのふれあいコーナーには子どもたちが大勢詰め掛け、ステージイベントでは郷土芸能発表や民謡歌謡ショーなどが行われ、まつりを盛り上げました。

**野菜・雑穀共進会に70点の出品**  
平成26年度町野菜・雑穀共進会は10月17日から19日までの3日間、モウモウ館で行われ、ほうれんそう18点、しゅんぎく1点、キャベツ11点、はくさい17点、だいこん11点、そば1点、大豆・小豆11点の計70点が出品されました。八幡平農業改良普及センター岩手駐在の農業普及員が審査を行い、金賞2点、銀賞6点、銅賞7点の計15点を選定。共進会の出品物は19日まで一般公開された後、即売されました。

▼ほうれんそう 小屋畑真理子（日渡）  
▼大豆・小豆 坂井喜一（境の沢）  
※生涯学習フェスティバルの様子は14ページ「まなびの森」に掲載しています。



【3】平成26年11月1日・広報ぐずまき

広報ぐずまき・平成26年11月1日【2】